

2013年度事業報告

2013年4月1日～2014年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会等との連携による地域まちづくりの課題に、具体的に取り組むとともに、人材育成のためのインターンシップを実施する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

1) 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

ア 誰でもが地域に住み続けるための課題を解決するための人材育成研修事業を行う。

→2013年度は事業を行わなかった。

- ・内 容 地域の課題に対してコーディネートができる人材の育成のための研修事業を行う。外国人の子どもに日本語を教えるための研修講座、まちを案内するガイド養成講座、障害者のガイドヘルパー講座などが考えられる。
- ・日 時 通年
- ・場 所 追浜行政センターなど
- ・従事者人員 当法人役員、会員、市民約20人
- ・対 象 者 支援を必要とする地域の青少年
- ・支 出 額 0円

イ マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

- ・内 容 追浜東町に建設された「ルネ追浜」入居者のコミュニティ形成がスムーズにできるよう、昨年度「コミュニティ醸成支援事業」(委託先総合地所(株))を行ったが、ルネ追浜管理組合からもう一年コミュニティ醸成のための支援して欲しいとの要請があった。今年度は、居住者が今後主体的に活動できるよう、企画・運営を居住者とNPO法人が協働で行うことを目指す。なお、追浜東町では、「パークハウス追浜」の入居も進んでおり、両マンション居住者間の連携も図りたい。
- ・場 所 ルネ追浜、こみゆに亭カフェ等
- ・従事者人員 当法人の役員、会員等 約10名
- ・対 象 者 ルネ追浜居住者等
- ・支 出 額 2,300円

2) 地域資源の保存・活用に関する事業

ア 会員対象の追浜メモリアルツアー

- ・目 的 NPOの会員相互の交流と活動の勉強会を兼ね、追浜の歴史散策を開催する。地元追浜地区は、変わりゆく街への活性化が期待されている。今一度、追浜の消えていく横須賀海軍航空隊の飛行場関連施設や第一航空技術廠施設などのメモリアルツアーを開催する。(追浜工業会との連携・戦跡の記録の思考を見出す)

- ・日 時 2013年10月中旬を予定
 - ・場 所 追浜飛行場米軍ヤード（現日産自動車追浜工場内）等
 - ・従事者人員 当法人役員等10名程度
 - ・対 象 者 当法人会員 約60名（個人、団体）
 - ・支 出 額 10,295円
- イ 「大人（大人と子供）の社会見学」（仮称） →2013年度は事業を行わなかった
- ・目 的 近隣の工場や研究施設との連携を取り、追浜ならではの地の利を生かし、住友重機械工業、日産自動車、海洋科学研究開発機構、アイクルの見学会を数日に分けて実施する。募集人員30人。会費2,000円。
 - ・日 時 2013年年度内
 - ・場 所 日産自動車、住友重機等
 - ・従事者人員 当法人役員、会員10名程度
 - ・対 象 者 一般
 - ・支 出 額 0円
- ウ 「追浜今昔物語～NOW&THEN」（仮称）
- ・目 的 ふるさと写真集の追浜の昔の写真をもとに現在の同じ地点の写真を撮り、CD化し販売を検討する。せっかくある写真を有効に活用する。若い世代との交流を目的とする。関東学院大学などの学生の協力を仰ぐ。こみゅに亭カフェで、映像を流す。
 - ・日 時 2013年年度内
 - ・場 所 こみゅに亭カフェ等
 - ・従事者人員 当法人役員、会員10名程度
 - ・対 象 者 一般
 - ・支 出 額 19,911円
- エ 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業
→NPO法人としての支出はなかった。
- ・内 容 第三海堡遺構の見学については、個人、団体の予約を受け付けるとともに、当面毎月第一日曜日を予約無しでの一般見学日とし、ガイドツアーを実施する。
 - ・日 時 2012年4月1日から2013年3月31日まで
 - ・場 所 夏島都市緑地
 - ・従事者人員 当法人役員、会員等 約10人
*おっぱまはっけん倶楽部会員の協力を求める。
 - ・対 象 者 追浜在住、近隣の一般市民
 - ・支 出 額 0円
- オ 追浜の歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業
- ・内 容 第三海堡遺構が横須賀市指定重要文化財指定されたことを記念して。6月29日に特別講演会＋見学会を開催、7月23日には館山で、NPO法人安房文化遺産フォーラムの協力を得て「東京湾まるごと博物館」に向けてのシンポジウムを開催する。これらの成果を生かし、追浜でのエコミュージアムのあり方を検討する。

- ・日 時 4月以降随時
- ・場 所 第三海堡遺構、貝山緑地、夏島貝塚等
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 約10人
*おっぱまはっけん倶楽部会員等の協力を求める。
- ・対 象 者 地域内外から 約2000人(年間)
- ・支 出 額 377,046円

カ 第三海堡文化財指定記念パーティの開催

→ 上記オのシンポジウムにおける交流会に代えた。

- ・内 容 第三海堡遺構の文化財指定の記念パーティを野外で行う。追浜ワインなどを提供し楽しいパーティとする。パーティ費用は今後の管理運営のための寄付という意味合いも含めて集めることとする。(雨の時はコミュニ亭やエルシャンテなどで実行する。)
- ・日 時 9月か10月頃
- ・場 所 第三海堡遺構(雨の日はコミュニ亭やエルシャンテ)
- ・従事者人員 当法人会員、会員等 約10名
- ・対 象 者 地域内外から50名
- ・支 出 額 0円

キ 第三海堡遺構へスムーズに案内するためのサイン計画

に関する社会実験～「サインはV」人間看板～

- ・内 容 第三海堡に限らず、追浜には歴史遺産等への適切な案内板がない。まちなかに案内板を作ることで、地元の人が地域資源を認識し、地域に誇りを持てるようにする。案内板をはじめとするサイン計画の実現には多くの資金を要するので、今回はその足掛かりとしての社会実験を行う。第三海堡への案内板及び案内ポスターの試作品を掲示し、路上のサインの場合はこれを持って立ち、通行する人の意見を聞く。
- ・日 時 土日、イベント開催時などを検討
- ・場 所 駅前、第三海堡遺構へのコース上等
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 約10人
*おっぱまはっけん倶楽部会員等の協力を求める。
- ・対 象 者 追浜住民、来外者等アンケート対象者は100名程度
- ・支 出 額 48,440円

ク 貝山地下壕の紹介事業

→2013年度は横須賀市が地下壕への立入りを許可しないため事業は行わなかった

- ・内 容 貝山地下壕は、2011年3月11日の東日本大震災以降、横須賀市が立ち入りを許可していない。しかしこれの歴史的、工学的重要性から、地盤工学会土木史跡委員会に協力し、一般向けの中間報告会の実施に関わるなど紹介に関する事業を行う。
- ・場 所 貝山地下壕、こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 約10人
- ・対 象 者 地域内外から約200人
- ・支 出 額 0円

ケ 我が街・追浜の湘南妙義「鷹取山」の景観保存まちづくり活用

→NPO 法人としての支出はなかった。

- ・内 容 幕末には、徳川幕府直轄の天領として、一般人の入山が禁止され、鷹取山は幕府御料林が鬱蒼としていた。明治に入り廃藩置県から、官有地が払い下げられ追浜の経済を支えた。石切り場として石材採取、石を運ぶ海運も発展した。今は、石切り場の山肌が露出し、歴史を刻む奇岩の湘南妙義・鷹取山が存在する。山は、健康志向の場として安心・安全なミニ登山や観光のため当 NPO 法人が中心となり、山を愛する湘南鷹取の町内会、横須賀山岳協会、勤労者山岳協会等が協働して景観保存の整備の展開している。具体的には、雑草処理や青少年、ハイカー等に登山指導を、行い人を呼び込み、郷土愛の醸成を図っている。
 - ・場 所 鷹取山
 - ・従事者人員 当法人役員、会員等 約 10 名
 - ・対 象 者 山岳会、地元自治会等 50 名程度
 - ・支 出 額 0 円
- コ 追浜地域内見学の手引きとなる冊子の発行
- ・目 的 「貝山地下壕見学のしおり」「東京湾第三海堡物語」に次いで、歩いて知る追浜の手引きとなる冊子を刊行する。内容は、トンネル、寺社等が候補となる。
 - ・場 所 こみゅに亭カフェ、その他追浜地域内
 - ・従事者人員 当法人役員、会員等 約 4 名
* おっぱまはっけん倶楽部の協力を得ている
 - ・対 象 者 地元住民、来外者
 - ・支 出 額 140,700 円
- 3) まちづくりの人材育成に関する事業
- ア 追浜でのワールドカフェの実施 →2013 年度は事業を行わなかった。
- ・内 容 多様な人たちとワールドカフェをやることで追浜の将来像を明らかにする。また行政への要求型でなく自分たちができることの展望も提案していく。まちの人、子どもたちなどが考えられる。
 - ・場 所 追浜地域の多様な場所
 - ・従事者人員 当法人役員、会員など 10 名
 - ・対 象 者 追浜地域住民
 - ・支 出 額 0 円
- イ NPO 交流会を実施
- ・内 容 NPO 法人アクションおっぱまの活動の見学とともに NPO 交流会を実現する。とくに若い人がいる NPO を誘い、情報交換などを行うことで今後の NPO 運営の参考にする。
 - ・日 時 2013 年度内
 - ・場 所 こみゅに亭カフェなど
 - ・従事者人員 当法人役員、会員など 10 名
 - ・対 象 者 横須賀市内外の NPO 法人関係者
 - ・支 出 額 10,050 円

4) 地域の活性化に関するイベント事業

① おっぱまワイン寄席10周年記念事業の開催

- ・内 容 今年度は、「おっぱまワイン寄席」を始めて10年の節目の都市にあたる。元々関東学院大学に講師として来られた柳家喬太郎師を追浜にお呼びしたことが始まりであり、関東学院大学から10年を記念した特別企画の呼びかけがあった。今回に限り、喬太郎師に企画を依頼。落語（複数の落語家による）、色物、大喜利などで賑やかに構成する。
- ・場 所 関東学院大学内のホール（800人収容）
*ただし、追浜にお客様が周遊するような工夫をする
- ・従事者人員 当法人役員、会員、関東学院大学法人事務局等
- ・対 象 者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 1,098,277円

③こみゆに亭カフェを活用した事業

ア.「三酒の神器」（仮称） →2013年度は事業を行わなかった。

- ・内 容 追浜でワインを造っているのので、その宣伝とともに、その歴史、嗜み方について学ぶ。その他、ウイスキーと日本酒の合計三回の講座。2時間程度。その後、同会場で懇親会を開催する。募集人員20人。
第一回目「ワインの日」 ソムリエにブドウの種類による味の違いなどの説明をしてもらう。追浜ワインの製造工程なども説明したり、ワイナリーの見学を含める。
第二回目「ウイスキーの日」 ワイン同様、醸造方法などの説明をしてもらう。
第三回目「日本酒の日」 ワイン、ウイスキー同様、醸造方法などの説明をしてもらう。会費は、1回2,000円で、三回セット券5,000円とする。
- ・日 時 2013年度内
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 5、6名
- ・対 象 者 一般
- ・支 出 額 0円

イ 私のこみせ →NPO法人としての支出はなかった。

- ・内 容 月1回の出店者の会議（こみせオーナー会議）と手づくり講座等の企画支援、
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 2、3名
- ・対 象 者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0円

ウ こみゆに亭カフェを活用したイベントの実施→NPO法人としての支出はなかった。

- ・内 容 年間5回程度の各種イベントを企画
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 5、6名
- ・支 出 額 0円

以下の事業は、NPO法人アクションおっぱまが(協)追浜商盛会と協力して行う。

③ 酒類の醸造及び販売事業

ア 横須賀おっばまワインの醸造・販売

ワイナリーでの醸造と各種イベントを中心とする販売活動を行う。

④ 地域の特産品の製造及び販売事業

ア 地域連携農産物の販売

イベントの実施等で販売に協力する。

5) 広報等に関する事業

① NPO 法人アクションおっばまの会報の編集・発行

・発行回数と発行予定：年間2回 7月、12月を予定

・ページ数と発行部数：4ページ（A4版）、100部

・支出額 10,830円（印刷費、郵送料）

② NPO 法人の事業に関連する先進事例の視察と視察の受け入れ

→3) イの事業に置き換えた。

他に年度内3、4回の視察を予定し、候補地を選定する。また他地域からの視察も、積極的に受け入れる。

・支出額 0円

以上